

高温対策と斑点米カメムシ防除の実施を！

1 出穂見込み及び斑点米カメムシ類防除適期の目安

表1 管内水稻の出穂見込みと斑点米カメムシ類防除適期の目安（月/日）

調査地点	品種名	出穂見込み	粒剤	粉剤・液剤等（1回目）
久慈市	白銀のひかり	7/31	8/2～8/9	8/9 頃
大川目	いわてっこ	8/1	8/3～8/10	8/10 頃
洋野町	白銀のひかり	8/6	8/8～8/15	8/15 頃
宿戸	いわてっこ	8/7	8/9～8/16	8/16 頃
洋野町	白銀のひかり	8/4	8/6～8/13	8/13 頃
阿子木	いわてっこ	8/3	8/5～8/12	8/12 頃
	あきたこまち	8/5	8/7～8/14	8/14 頃
野田村新山	白銀のひかり	7/30	8/1～8/8	8/8 頃
野田村泉沢	いわてっこ	8/10	8/12～8/19	8/19 頃

※ 出穂見込みは、幼穂形成期と気温から算出した予測値です。

※ 防除適期は、R3～R7 の生育診断圃（宿戸・阿子木）の出穂期から穂揃期までの日数の中央値（2 日）を用いて算出した目安です。実際の出穂・穂揃状況を確認してください。

2 久慈地域における斑点米カメムシ類の調査結果

7 月 21 日の調査では、転作田を除く畦畔・水田内における発生地点率は 38.5%、発生地点平均虫数は 3.3 頭で、いずれも 5 か年平均値（22.6%、1.8 頭）を上回りました。また、洋野町阿子木の出穂中の転作牧草地では、幼虫を中心に多数確認されました。

3 今後の管理について

高温時の水管理	斑点米カメムシ類の防除
間断かんがいを基本に、水の入替を行い、夕方から朝方に入水して水温・地温を下げ、根の活力を保ちましょう。	発生量は「多」の予報です（7月28日付注意報）。 (1) 粉剤・液剤による薬剤防除 散布時期は、穂揃期 1 週間後と穂揃期 2 週間後の 2 回です。 （穂揃期 1 週間後にスタークル剤を使用した場合、2 回目は穂揃期 3 週間後を目安に散布しましょう） (2) 粒剤による薬剤防除 散布時期は、穂揃期から穂揃期 1 週間後の 1 回です。 ※ 穂揃期：穂が見えた茎が、ほ場全体の約 90% に達した時期 ※ 周辺に牧草地やイネ科雑草地があるほ場、本田内にノビエ、ホタルイ等が残るほ場では、追加防除を行いましょう。 ※ 農薬はラベルを確認し、使用時期、使用量、使用回数等の使用基準を守って使用してください。

- ・ このような情報をタイムリーに入手することに役立つ、メール配信をしています。
- ・ 右の二次元コードからメール作成を開き、必要事項を記載の上、お申し込みください。



お問合せ先：JA新いわて久慈営農経済センター（TEL：0194-52-1318）
久慈農業改良普及センター（TEL：0194-66-9683）
（E-mail：ce0026@pref.iwate.jp）